

定例会議
IT企業 オフショア開発「MM Lab」

藤田社長：

はい、みなさんお疲れさまです。
では10時になりましたので定例会を始めましょう。

今回、営業部の高井さんから相談したいことがあるようなので、その件を最初の議題とします。
高井さん、お願いします。

高井営業部長：

はい。
みなさん、お疲れさまです。
えー、今週は先週末から続いているドラゴンメディアJP社との交渉が主な業務でした。
先方は新事業を予定しており、そのウェブサイトの作成の依頼が弊社に来ております。
WEB制作課のDucと依頼書の確認をし、ウェブデザイナーのThanhと一緒に作業工数、時間を確認しました。
それに基づき、見積もりを作成し先方に送付したところ、値引き交渉となりました。
今回のウェブサイト作成は合計で350,000円で見積もりを出しています。
皆様にも見積書を会議前に送付しておりますので、内訳はそちらで確認できると思います。
先方の希望は300,000円ですので50,000円の値引きは私としても厳しく感じており、330,000円で妥協していただけるよう交渉中です。
本日、会議後に再度お話する予定がありますので、皆さんの意見を聞きたいです。

Manh制作部副部長：

高井さん、お疲れさまです。
高井さんの見積書と依頼書を確認しました。
そのことで質問なのですが、今回の作業工数を私も確認しましたが、もう少し作業時間が短縮できるのではないかと考えています。
DucさんとThanhさんはどうしてこのような時間を出したのでしょうか。
もう少し、早くできるスタッフに依頼すれば作業工数と時間も減り、値引き対応できるかも知れません。

高井営業部長：

そうですね。
今回はPhuongにお願いする予定でしたが、彼は別の業務が進行中であり、手が空いていません。
そのため、少し経験は浅いですが、時間をかけて丁寧に仕事ができるDucに制作を依頼しました。
あと、依頼されているのはゲーム関係のウェブサイトです。
うちのデザイナーの中ではThanhが一番ゲーム系のデザインに向いているという点です。

Manh開発・制作部副部長：

そうでしたか。
あ、Khanhさんはゲーム系のデザインをしたことがありますか。

Khanhウェブデザイナーリーダー:

はい、私は前職でゲーム系のデザインはやっています。

この会社に来てからはまだやっていないですが、デザインすることができますよ。

依頼書を確認したところ、Ducさんより早く仕上げることができますと思います。

今週で別のプロジェクトが終わるので、それが終わり次第、私がドラゴンメディアJPのデザインをします。

会議終了後に、改めてデザインにかかる工数と時間を出します。

高井営業部長:

それはありがたいですね。

では、Khanhさんにおまかせしたいと思いますが、Ducさんをサポートにつけてください。

もともと、彼に依頼した仕事なので、彼を外すというのも気を悪くするかも知れません。

また、リーダーであるKhanhさんのサポートをすれば、彼にとって上達のいい機会になりますね。

Khanhさん、工数見積もりはいつまでに出せますか。

私は本日中に先方に連絡しないといけません。

Khanhウェブデザイナーリーダー:

会議が終わり次第すぐ出します。

えっと、30分・・・遅くても1時間で出します。

Ducさんと一緒にやりますね。

高井営業部長:

ありがとうございます。

藤田社長:

はい、では続いてですが、製作部のアプリ開発課のリーダーであるDuyenが来月で退職予定です。

彼女の代わりにチームリーダーを決めようと思っております。

開発・制作部長の久島さん、よろしくおねがいします。

久島開発・制作部長

みなさん、お疲れさまです。

今、社長がお話になった通りDuyenが来月いっぱい退職する予定です。

彼女はかねてより希望していた日本への就職が決まりました。

非常に残念ですが、彼女の夢だった日本での就職なので、引き留めることなく笑顔で送り出そうと思います。

そこで、Duyenに代わる新しいリーダーを選出しないといけません。

新リーダー3人のサブリーダーの中から選ぶと思っています。

まず、入社6年のCongです。

彼は社歴が長く、最年長です。

人柄が非常によく、下にも上にも丁寧なので、みなさんもCongについてはいい印象があるでしょう。

部下からも慕われているため、信頼度は高いです。

しかし、部下に対しては甘い一面があり、何度もその甘さゆえのミスが発生しています。

アプリ開発のスキルについてはDuyenと同等と言えるでしょう。

続いて、Thuyです。

彼女は入社5年で年齢はCongより2歳若く、上から2番目です。

アプリ開発以外にもウェブサイト制作もできるので、たまにウェブ制作課を手伝っています。

仕事が速いので非常に重宝していますが、感情的になりやすい性格なので、部下からあまり好かれていません。

Duyenと仲が良いので、一番引き継ぎがうまくいくのかなと思っています。

アプリ開発スキルはDuyenより少し劣っています。

最後に、Cuongです。

彼は入社4年で年齢はチームの平均より少し高い程度です。

昨年の実績は一番高く、間違いなくチーム内のエースと言えるでしょう。

少々寡黙な性格ですが、部下に対してよく教えているので、部下からの印象は並以上と言えるでしょう。

問題は、彼がまだ若く社歴が浅いということです。

自分より年上の部下をコントロールできるかがキーとなってくるでしょう。

アプリ開発スキルはチーム内で1番です。

以上3人の中から選ぼうと思っています。

私としては、部下からの信頼が厚いCongをと思っていますが、皆さんの意見はどうでしょうか。

大西人事部長：

久島さん、あくまで私の意見ですが、今回のチームリーダーはCuongに任せてみるのはどうでしょうか。

年齢や社歴というのも考慮する条件ではありますが、実績があり、スキルが高い人材がリーダーをやるべきではないでしょうか。

Congも非常に信頼が厚い人材であるということは私も知っていますが、現状開発者の目標は全体のスキルアップだと思います。

Cuongは皆に教えているとのことでしたので、更に上の立場に行けばより教えたり、サポートしたりすることが増えるのではないのでしょうか。

そうすれば、自然と開発者全体のスキルが高くなってくると思います。

久島開発・制作部長

なるほど。

実は私もそのように考えていましたが、チーム内のバランスが崩れるのを危惧していたもので、Congにと考えを変えた次第でした。

そうだ。

ManhとKhanhは、ベトナム人から見て誰が良いと思いますか。

Manh開発・制作部副部長：

はい。

私は今回のリーダーについてはCuongさんがいいと思います。

去年で一番大きなXEZ社のプロジェクトはCongさんが担当していましたが、Congさんはプロジェクトの管理や顧客の打ち合わせで忙しかったので、Cuongさんが中心となって皆に指示をしていました。

Congさんは「彼は優秀だから何を任せて安心できる。」ととても高く評価していました。

実際、私も彼に何度もサポートや開発をお願いしましたが、非常にスキルの高い人材であると分かりました。

年齢や社歴よりは別として、圧倒的にスキルが高いので、彼がリーダーになっても誰も異存はないかと思っています。

Khanhウェブデザイナーリーダー：

私もそう思います。

以前、Congさんと話した時、次のリーダーはCuongがやるべきで、私はそのサポートをしたいと言っていました。

先程、Manhさんが言ったようにCongさん自信もCuongさんを非常に高く評価しています。そのため、私もCongさんではなく、Congさんがサブリーダー昇格するべきだと思っています。

久島開発・制作部長

はい、二人ともありがとう。

現場にいる二人が言うのだから間違いなさそうですね。

実際に私も彼のスキルはチーム内で1番であると評価しています。

もしかしたら、後数年で私よりも開発スキルが高くなるのかも知れません。

ということで、社長に決定を仰ぎたいのですが、新チームリーダーはCuongがやるということでもいいでしょうか。

藤田社長：

問題ありません。

Cuongのスキルが高い話は私も常々聞いていますからね。

高井さんはどうですか。

高井営業部長：

私もCuongで賛成です。

私が取ってきた案件をいくつかやってもらっていますが、全て完璧に仕上げてました。

お客さまからのクレーム率も一番低いんじゃないでしょうか。

XEZ社のプロジェクトも私がとってきたのですが、Congが忙しくしている時、Cuongが汗を流しながら頑張っているのをよく見ましたからね。

久島開発・制作部長

はい、ではCuongには私から来週中にその旨を伝えて本人の意志を確認しておきます。

Uyen秘書

あ、久島さん。

話が変わりすぎません。

サブリーダーThuyさんですが、今度私も交えて3人でお話したいことがあります。

彼女も非常に優秀な人材であるのは承知していますが、最近感情的になって怒ったり、部下を軽視するような発言などがあると報告を受けています。

2021年より、ベトナム労働法が新しくなり、パワハラに関する規定が非常に厳しくなりました。

その点、彼女には注意していただきたいので、できれば来週中にお話の場を作っていただきたいのです。

久島開発・制作部長：

そうでしたか。

私やManhからも度々注意してはいるのですが、なかなか改善されず申し訳ありません。来週月曜日の午後3時以降でした大丈夫ですので、その際3人でお話しましょう。

Uyen秘書：

はい、私は大丈夫です。

では、午後3時からこのミーティングルームで行いますので、当日はよろしくおねがいします。

久島開発・制作部長：

わかりました。

藤田社長：

はい、それではちょうど時間となりましたので、これで定例会は終了です。

みなさん、今週もお疲れさまでした。

それでは、各自業務に戻ってください。